

【緑地の樹】

ツルグミ

ツルグミが、公園から緑地に入ったところにある。高さ 2～3 m で枝は長く伸び赤褐色の鱗片があり、葉は互生し裏面に赤褐色の鱗片が密生する。まれに銀白色のものもある。小枝を下向きに出し、それにより他の木に寄り掛かる。幹が太く高くなると 10～11 月に淡褐色の小さな花が数個垂れ下がって咲く。

また枝の変形したとげをつける。5 月ごろ赤い実がなるそうだが、緑地のツルグミでまだ実がなっているのを見ていない。白い小さな花からどんな実ができるのか、来年の春にはチェックしなくては。

(宇野、小川)

プロフィール：グミ科グミ属 つる性常緑



葉の表は緑だが、葉裏は茶褐色



グミの花。開花中